

令和2年度学校自己評価システムシート (県立蕨高等学校)

目指す学校像	「生徒の進路希望を実現する文武両道の進学校」 ～グローバルな視点を持ち次世代のリーダーとして活躍できる人を育てる～
--------	--

重点目標	1 生徒の進路希望の実現に向け、生徒に高い志を持たせ、全教職員が授業改善に取り組む。 2 社会のリーダーとして活躍できるように、自主・自律の精神を持ち合わせた生徒を育成する。 3 開かれた学校づくりを推進するとともに、蕨高校の魅力が伝わるように情報発信する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	6名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	4名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					年度評価(2月1日現在)	
年 度 目 標					年度評価(2月1日現在)	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領を踏まえアクティブラーニング、授業アンケート等を活用し授業改善に取り組んだ。授業で小論文、レポート作成等を取り入れるとともに、考査結果、模試分析等から改善点を全教科で共有した。 教員同士による授業見学や研究協議を踏まえた授業改善を行う必要がある。 先進校視察は7名、外部研修会への教員の参加者数は76名。いずれも前年より増加した。先進校視察及び外部研修会で得た成果を共有し教科指導・進路指導に活かす。 	新教育課程を踏まえた授業改善	①教員相互による授業見学、各教科での研究協議の実施 ②アクティブラーニングを活用した授業研究、各教科での研究協議の実施	①授業公開週間の設定、研究協議を踏まえ授業改善ができたか ②授業研究、研究協議を踏まえ授業改善ができたか	新教育課程を踏まえた授業改善を行った。 ①授業公開週間を11月に設定し、教員相互の授業見学を行い、協議を行った。職員会議でフィードバックをした。 ②アクティブラーニングの視点を活用した授業研究や研究協議を全教科で行った。	A
		先進校視察及び外部研修会で得た成果を活用した教科指導・進路指導の充実	①先進校視察及び外部研修会(教科指導・進路指導)への積極的な参加及びフィードバックの実施 ②難関大学入試に対応した各種進学補講体制の拡充	①先進校視察及び外部研修会で得た成果を各教科・各学年で情報を共有できたか ②各種進学補講の講座数と参加者数	外部研修会・補講にオンラインを活用した。 ①先進校視察は実施できず。オンライン外部研修会への教員の参加者数は9名。参加者が各教科でフィードバックし情報共有する体制を構築した。 ②通常時の進学補講は前期後期29講座。夏期進学補講は57講座で参加者はのべ2,085名だった。オンラインを活用した補講も実施した。	A
2	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は多くの部活動が関東大会、県大会で活躍した。 蕨高校部活動に係る活動方針に基づき効果的効率的な部活動を実施する必要がある。 自学自習の習慣を入学時に指導するとともに、学習時間以外を含めた時間管理能力を高める指導が必要である。 登校指導と遅刻指導により令和元年度の遅刻件数は減少に転じた。引き続き、遅刻指導、整容指導、挨拶の励行、交通ルールの遵守、登下校時のマナー向上等、教職員一体となって取り組む必要がある。 海外短期派遣事業は中止となったが、本校が進めてきた国際交流活動は工夫して継続する必要がある。外国語科を有する学校の強みを活かし、普通科、外国語科を問わず生徒の意欲・関心を喚起するように企画、実施することが求められる。 	蕨高ビジョンに基づく高いレベルでの文武両道の実現	①時間管理能力の育成と朝時間や隙間時間の活用奨励 ②効果的効率的な部活動を通じた充実した高校生活の確立	①家庭学習等授業以外の学習時間の増加(生徒実態調査より) ②文武両道の実現割合の増加(生徒実態調査より)	高いレベルでの文武両道実現の支援を行った。 ①平日の学習時間は各学年で増加した。時間管理能力の育成とともにグーグル・クラスルームを有効活用し臨時休業中の学習支援を行った。 ②文武両道が実現できている生徒の割合は前年度約3割から今年度約4割に増加した。	A
		規範意識の高い生徒の育成	①登校指導及び蕨警察署と連携した自転車マナーアップの推進 ②生徒と連携した登下校時のマナー向上活動の推進	①自転車事故件数の減少及び自転車の運転マナーの向上 ②登下校時のマナー向上活動の実施状況	蕨警察署と連携し交通安全指導を実施した。 ①自転車事故件数は前年比同数の6件だった。近隣の方の意見を参考に掲示物を活用し生徒の自転車の運転マナー向上に取り組んだ。 ②蕨警察署と連携し交通安全・挨拶運動週間を1学年のクラス代表の協力で10月に実施した。	B
		国際社会に積極的に貢献しようとする生徒の育成	①各種国際交流活動の活性化 ②前年度の海外短期派遣事業参加者等による1年生対象の報告会の実施	①国際交流行事及び国際交流活動参加者数400名 ②報告会参加者数及び来年度の海外短期派遣事業参加希望者数	国際社会に目を向ける機会を企画・実施した。 ①「SDGs講演会」(1学年)を実施、ALTによるオンライン英会話レッスンに7名参加、日豪オンライン交流会に40名参加、卒業生による留学体験を語る会に30名参加、日中オンライン交流会2回にのべ30名参加。 ②来年度の海外短期派遣事業は渡航状況や現地の状況を調査中のため今年度の報告会は延期した。	A
3	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会、学校公開、ミニ学校説明会、部活体験見学会を実施した。 学校ホームページは積極的に情報更新し、アクセス数は前年度比2.3倍の約38万件だった。 学校説明会での来校者誘導に生徒会役員の協力や部活動見学での見学者対応に本校生徒の協力について検討する必要がある。 	本校生徒が活躍する姿を伝える情報発信	①学校説明会や部活動見学会等の内容の充実 ②蕨市内の小学校との交流事業の実施及び地域の行事への生徒の参加 ③学校ホームページの更新による積極的な情報発信	①生徒の協力者数、生徒の活躍する場面を増やすことができたか ②交流事業参加者数及び地域の行事への参加者数 ③学校ホームページへのアクセス数	学校説明会や学校ホームページで情報発信した。 ①学校説明会4回、ミニ学校説明会1回を実施。説明会では代表生徒が発表し生徒会役員が受付・誘導をサポートし放送委員会が司会等を担った。 ②交流事業は中止となったが、蕨市主催動画配信プロジェクトに参加した吹奏楽部・音楽部のコラボレーションの取組が蕨市広報誌に掲載された。 ③学校ホームページアクセス数(4月から1月)は前年比21万4千件増の約48万4千件だった。	A

学校関係者評価	実施日 令和3年2月8日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> 臨時休業中の連絡や課題の配付・提出はGoogle classroomを活用し便利だった。生徒全員が使用方法の事前講習を受けられるとよい。 オンライン補講は時間を有効に使うことができるので来年度はより積極的に開講してほしい。 Wi-Fiの環境が整備されオンライン授業が進むことになると思うが、教育格差が生じることがないように願いたい。 臨時休業中のGoogle classroomは有効に活用されていたが通常登校再開後は活用していない教科があった。平常の授業でも活用することが隙間時間の活用にもつながると思う。 ほとんどの生徒は登下校時の交通マナーに問題がないと思う。 交通マナーの問題は個の問題だと思う。学校の取組を蕨市の広報誌やケーブルテレビをうまく活用してPRしてみるとよいと思う。 海外派遣事業は実施できなかったがオンラインでの交流会などが行われたのは良かった。しかしオンライン交流会は外国語科が中心のものであったので、来年度は普通科、外国語科問わずに行ってほしい。 学校説明会、ミニ学校説明で中学生が直接蕨高生に質問できる場を設けた方がよい。 以前は運動部が中学生と合同練習会を実施してくれた。今後もそういう機会があるとありがたい。 小学校との交流事業は非常に楽しみにしているので来年度は実施してほしい。